

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 15 日		事業所名: 児童発達支援事業所めばえ(児童発達支援)					
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	1	借りている施設が大きい。	パーティションで区切っている。
	②	職員の配置数は適切である	1	5	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	0		配慮はしている。だが、個々に合わせる事が難しい所もあるので、今後相談して設定していく。
	④	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の勝不動に合わせた空間となっている	5	1	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	1	3	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	0		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3	0		
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0		
	⑫	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	3	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームでおこなっている	5	1	0	チームで相談して行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0	定期的に課題の見直しを行っている	

の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0	支援計画の中に個別・集団の両方面からの目標を設定している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	その日の朝礼で毎回行っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	毎回話し合いを行っている。次の日の朝の朝礼でも話している。	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	支援内容について毎回記録に残している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	半年に一回、必要なお子さんに対しては随時行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	事業所に来ていただいで会議をする場合は、児発管だけでなく、担当職員にも参加してもらうようにしている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっている	5	1		計画相談事業所と連携を行っている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっている	3	2	1		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている	2	3	1		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	1		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	0		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	2		保護者からニーズがあれば行くようにする。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	1	ぐんぐん育てよう部会に副会長として参加している	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	毎回の振り返りの中で様子を聞いている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	0		ぐんぐん部会のペアトレ事業に毎年職員を派遣し、事業所でも対応できるようにしている。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に行っている	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得てる	6	0	0	計画作成時に内容等の説明を行っている。	
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	個別・集団の振り返り時に、しっかりと話を聞くようにしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	0		
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れ場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	いつでも相談に乗れる態勢を整えている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	1		
	③⑧	個人情報に十分注意している	6	0	0	注意している	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	事前に分かっている予定は早めに伝えている	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	1	地域の行事に参加している。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	0	各マニュアルは作成している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	0	年2回行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	1	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	1		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	1	毎回全員で閲覧している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	毎年行われている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：平成31年3月15日 保護者等数(児童数) 36名 回収率 26名 割合 72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	4	0	0	・後1~2人多いと職員が体調不良時にいつも通りの支援が受けられる。	どの職員でも同じように療育ができるようにしていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	1	0	0		
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	1	0	0	・カメムシが多い。 ・冬が寒い。	暖房器具を早めにつけ、保護者が快適に過ごせるようにする。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	25	0	1	0		
	⑥	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	0		
	⑧	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	24	1	0	1	・とても工夫されている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	11	0	1	・半年に一回ぐらいあってもいいと思う。 ・子ども同士より先生や保健師が施設を訪問するべき。 ・園に通っている必要ない。	園の先生や保健師さんが気軽に来ることができるよう、連携を取っていく。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24	1	0	1		

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※4等）が行われているか	17	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して答えてくれるが、家でできることも教えて欲しい。 ・研修があることを知らなかった。 	研修の案内を早めに提示し、参加しやすい内容を考えていく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	2	0	1		
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・週一回話せるので困りごとをすぐに伝えられる。 	半年に一回のモニタリングと毎回の振り返りの中でしっかりと話を聞いていくようにする。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	12	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・利用し始めたばかりで知らない。 ・集団後の振り返りで保護者同士で話せている。 	利用開始時にしっかりと説明をする。
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見ていない。 	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	8	1	2		
	⑲	個人情報に十分注意しているか	24	0	1	1		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	8	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・園でもあるので定期的にあると親も子供も慌てず対応できそう。 	マニュアルは作成してある。保護者にマニュアルの場所を伝え、いつでも確認してもらえるようにしておく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	10	5	2		年に2回行っているがクラス編成上全てのクラスで行うことが難しい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	23	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「次はいつ行くの」と子どもが楽しみにしている。 	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・言語・作業療法士がいてくれたら尚安心。 ・子どもが楽しみにしている。 	

○この「保護者等からの事業所票かの結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所向け 放課後等デイサービス評価表

平成30年度 集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 ・体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	2	4	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	1	
業 務 改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	業務改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	1	4	1	今後法人のホームページで公開予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	外部評価は実施していない。今後検討を行う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4	0	研修に参加する機会を設けていく。
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適当に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	モニタリング時にアセスメントを行い、ニーズに対応している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	チームで立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	様々な視点より課題を設定している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	その時期に応じて課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	個々に応じた課題を設定している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	朝礼にて打ち合わせをし確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	クラス終了後と次の日の朝礼で振り返りをし、お子さんの様子を伝え合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	記録をもとに、支援の改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	定期的に保護者に話を聞き、ニーズに沿って見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2	0	
関係機関 関 た 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	3	0	保護者送迎の為、学校とのかかわりが取りにくいですが、必要な場合は情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	対象者がまだいないが、今後必要な場合は情報提供していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	機会を持ったことはないが、保護者からの要望があり必要となれば行っていく。

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	0	協議会に参画している。
	㉑	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	療育後の振り返りの際、共通理解できるようお話をしている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	0	
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に行っている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言等と支援を行っているか	5	1	0	療育後の振り返りの際に行っている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	0	年に一度保護者研修を行っている。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	適切に対応をしている。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	3	3	0	
	㉘	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	注意している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	必要な場合は、事前に予定を伝えるようにしている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか	1	4	1	地域の行事には参加し、事業所の事を知ってもらえるようにしている。
非常時等に対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	0	契約時にお伝えをしている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	定期的に訓練を行っている。
	㉝	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	6	0	0	年1回研修を行っている。

④①	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	0	
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	1	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	1	いつでも確認ができるようにしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者向け 放課後等デイサービス評価表

公表：平成31年3月15日 保護者等数（児童数）34人 回収 25枚 割合 73%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	ご意見
環境 ・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	25	0	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	10	0	0	
適切な 支援 の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	25	0	0	0	子どもにとって楽しいことばかりではなく生活するうえで必要な訓練もしてほしい。(掃除や片付け等)を盛り込んでほしい。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	0	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	7	12	5	1	
保護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0	
	⑧	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	0	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	16	2	1	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	3	0	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供	14	11	0	0	

非常時等の対応		や保護者に対して発信しているか					
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	1	0	0	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	12	0	0	しているのかもしれないが分からない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練がおこなわれているか	7	15	1	2	しているのかもしれないが分からない。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3	0	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	2	0	0	どの先生とも良い関係を築けていて、負担なく活動していると感じるので満足している。

○この「保護者等からの事業所評価の結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。